

一般社団法人 日本生態学会

2020 年度 第 2 回通常理事会

1. 日時：2020 年 7 月 11 日（土）13:00～17:30
2. 場所：オンライン会議（zoom）
3. 出席者：
 - ・理事会構成員（20 名・定足数 10 名以上）
（理事）湯本貴和、宮下直、永松大、三木健、黒川紘子、中川弥智子、久米篤、木村恵、内海俊介、東樹宏和、中野伸一、吉田丈人、西廣淳、近藤倫生、辻和希、鏡味麻衣子、北島薫、宮竹貴久、村岡裕由、和田直也
 - ・監事：陀安一郎、齊藤隆
 - ・オブザーバー：陶山佳久、永光輝義、小池文人、幸田良介、大塚俊之、佐々木雄大
 - ・事務局：鈴木晶子
4. 議事概要：

定足数 10 名を超える 20 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款第 42 条に従い湯本貴和会長を議長として議事を進めた。議事録署名者は、定款第 46 条に則り、湯本貴和会長、齊藤隆監事、陀安一郎監事とし、議事録作成者は永松大理事が担当することとした。

報告事項

1. 事務局報告（庶務・会計）
 - ・資料 1 に基づいて永松専務理事より、法務局に 2020 年定時総会にて就任した理事・監事交代を申請し登記された（4 月 1 日）こと、令和 2 年度科研費（国際情報発信強化 A）の内定通知があった（4 月 1 日）こと、令和 2 年度科研費（公開講演会）について不採択通知があった（4 月 1 日）こと、第 67 回大会総会にて決議された「高い植物多様性を擁する屋久島の低地照葉樹林の環境保全を求める要望書」を林野庁長官、林野庁九州森林管理局長、環境省自然環境局長等宛に送付した（4 月 11 日）こと、サーバーサポートチケット代金を支払った（6 月 10 日）こと、共立出版社より「現代の生態学 8」印税の入金があった（6 月 19 日）事など庶務 9 件、会計 12 件の報告があった。
2. Ecological Research 編集委員会報告
 - ・資料 2 に基づいて陶山編集長より Editorial Coordinator の退任、Copy Editor の就任、Impact factor の上昇、編集状況、特集の状況、Data Paper についての報告があった。

3. 日本生態学会誌編集委員会報告

- ・ 資料 3 に基づいて永光編集長より刊行状況、編集状況の報告があった。

4. 保全生態学研究編集委員会報告

- ・ 資料 4 に基づいて小池編集長より刊行状況、編集状況の報告があった。

5. 出版状況報告 (3 英文誌運営)

- ・ 資料 5 に基づいて久米理事より 3 英文誌の今後について、科研費 (国際情報発信強化 A) 交付期間が終了する 2022 年度までに、その後の運営費用、OA 化、雑誌のあり方など基本方針を立てる必要があるとの報告があった。
- ・ 宮竹理事、吉田理事、宮下理事より個体群生態学会の動向として、ジャーナル所有権等について 12 月頃までに検討するとの報告があった。

6. 大会報告 (ESJ67)

- ・ 内海理事より ESJ67 について新型コロナウイルスの影響により中止となったが発表登録数は過去最高だったことが報告された。
- ・ 黒川理事より ESJ67 のキャンセルポリシーに則って大会参加費を返却しなかったこと、資料 6 の大会収支に基づいて、懇親会費は寄附も多くあったが 28 万円ほど赤字であったこと、全体収支では 338 万円の黒字となったことが報告された。
- ・ 大会収支について会員には、黒字分の用途についても検討した上で報告してはどうかとの提案があった。

7. 各種委員会報告

(キャリア支援、将来計画、自然保護、生態系管理)

<キャリア支援専門委員会>

- ・ 資料 7 に基づいて木村理事より、2022 年 11 月より生態学会が 1 年間男女共同参画学協会連絡会幹事学会に就任予定であること、運営について WG を立ち上げる予定であるとの報告があった。
- ・ 男女共同参画学協会連絡会にて緊急事態宣言による在宅勤務中の科学者・技術者の実態調査アンケートが実施されたとの報告があった。

<将来計画専門委員会>

- ・ 資料 7 に基づいて辻理事より会員間の (オンライン) 交流触発イベントの計画、若手や女性研究者に対して受賞候補者を委員会・学会で推薦する提案の報告があった。

<自然保護専門委員会>

- ・ 和田理事より、屋久島要望書を 4/10 に提出し、5/28 に環境省、林野庁より回答があったこと、中国四国・北海道地区会から風力発電計画に対する意見書等の提出があったこと、新型コロナウイルス災禍を受けて声

明文案を作成したが提案に至らなかったことの報告があった。

＜生態系管理専門委員会＞

- ・ 西廣理事よりキャパシティブルディング部会では今年度は現場での講習会・演習は行わずこれまでの活動を総括して報文にまとめること、調査・提言部会では気候変動適応、防災などの会合を開いていくとの報告があった。

8. 学術会議報告

- ・ 吉田理事より新型コロナウイルスの影響で対面会議は行われていないこと、今後、連携会員が決定され 10/1 から新しい期が始まるとの報告があった。

9. 学会会員及び大会における個人情報削除ルールについて

- ・ 資料 8 に基づいて三木理事より会員データ保持期間と大会参加者データの保持期間について提案があった。

10. 学会サーバ移行報告

- ・ 資料 9 に基づいて村岡理事より学会独自サーバよりメール・データを共有を G suite への移行作業中であること、移行予算・移行後予算、今後の検討課題について報告があった。

11. INTECOL ジュネーブ大会の延期について

- ・ 中野理事より来年 8 月開催予定の INTECOL ジュネーブ大会が延期になったとの報告があった。また関連事項として INTECOL Board メンバーの更新が今夏に進展する可能性があることも報告された。

12. その他

- ・ 中野理事より 8 月に琵琶湖賞を公募開始するとの報告があった。

審議事項

第 1 号議案 大会規則改訂について

- ・ 資料 10 に基づいて永松専務理事より大会規則について非常事態時の大会中止や延期等の手順、キャンセルポリシー、大会安全管理委員会設置を定める提案があり大会規則に以下の条文を加えることと大会意思決定手順案が全会一致で承認された。

(危機管理) 第 16 条 大会開催時の災害および救急対応のため、大会実行委員会は大会安全管理委員会を組織し行動計画を定めて、これらを大会に先立って理事会に報告する。

2. 火災、地震、気象災害、人災、感染症などにより大会開催に甚大な影響が生じた場合、またはその影響が継続すると予見される場合は、別途定める「日本生態学会大会の非常事態時意思決定手順」に従って、大会の中止（一部中止を含む）、延期、大会日程、開催方法の変更を行うことができる。予定通りに大会が開催できない場合の参加費等の扱いは、別途参加者に示すこととする。

第2号議案 大会について（ESJ68 について、企業対応ポリシー、公開講演会共催）

- ・ 資料 11 に基づいて永松専務理事より ESJ68 運営検討タスクフォース報告、黒川会計担当理事より ESJ68 予算と ESJ67 懇親会費・大会参加費の扱いについて報告があった。
- ・ 総会・フォーラム参加について、会員には大会参加費の支払いを要せず参加権利があるため、システム利用の配慮が必要になるが、技術的には参加費の支払い如何に関わらず、一般会員の参加を可能にできそうとの意見があった。
- ・ 参加費については大会支出に見合う設定とし、一般参加者が参加しやすいように一般参加費についてできるだけ低めにできないかとの提案があった。
- ・ ESJ68 運営検討タスクフォースで議論した方向性で準備を進めることが全会一致で承認された。
- ・ 資料 10 に基づいて内海理事より企業協賛に係る学会ポリシー作成について報告があった。
- ・ 宮竹理事より公開講演会について環境 DNA 学会と共催について提案があり、全会一致で承認された。

第3号議案 日本生態学会誌投稿規定改定・冊子体購読費について

- ・ 資料 12 に基づいて永光生態学会誌編集長より投稿規定改訂の全面的な改訂と、J-STAGE 上の登録論文・記事について CC-BY ライセンスへの変更についての提案があり、全会一致で承認された。
- ・ 資料 12 に基づいて永松専務理事より日本生態学会誌冊子体費用について希望者負担に切り替えることとその手順について提案があり、全会一致で承認された。

第4号議案 生態学会各賞の英訳について

- ・ 資料 13 に基づいて黒川理事より提案があったが、「The Ecological Society of Japan Award (ESJ Award)」について別の提案があったため継続審議とすることになった。

第5号議案 委員の承認について

- ・ 資料 2 に基づいて陶山編集長より ER 新編集委員の提案があり全会一致で承認された。

- ・ 資料 14 に基づいて幸田大会企画委員長より委員の提案があり全会一致で承認された。

第 6 号議案 会員の動態分析ワーキンググループ設置について

- ・ 宮下副会長より会員の動態分析ワーキンググループで昨年解析を 1 年間行ったがまだ分析途中であるため昨年と同じメンバー（深谷、宮下、佐竹、三木、鈴木智之）での 1 年間継続設置の提案があり全会一致で承認された。

その他

1. (仮) 大会運営検討ワーキンググループについて

- ・ 湯本会長より大会会場の固定、地区会との連携、オンライン・オンサイト大会など今後の大会運営を検討する WG 設置予定であるとの報告があった。ESJ68 の運営方針を固めた上で WG の人選、検討をはじめめる。

2. 次回理事会は 12/19 (土) 13 時～ オンラインにて実施

閉会：以上の議事を終え、17時30分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、会長、監事がこれに記名押印する。

2020年7月11日

会 長 : 湯本 貴和 (印)

監 事 : 陀安 一郎 (印)

齊藤 隆 (印)